

大阪スマートシティ戦略『次世代型スマートシティOSAKA』（案）の概要

スマートシティ戦略はネクストステージへ

「大阪モデル」のスマートシティの役割を継承し、さらなる発展をめざす。

| 役割 | Ver.1.0、ver.2.0における取組 |
|------|---|
| 府市連携 | 【大阪府市】スーパーシティ型国家戦略特区を活用した先端サービスの実装と規制改革 |
| 広域型 | 【大阪府】スマートシティの基盤作り×府域全体のDX推進 |
| 都市型 | 【大阪市】大阪市DX戦略に基づくスマートシティ推進 |

環境の変化

- ◆ テクノロジーの進化
- ◆ 社会課題の多様化

ネクストステージ
Ver.1.0/ver.2.0の取組成果
急速に変化する環境への対応

『次世代型スマートシティOSAKA』（案）の基本方針

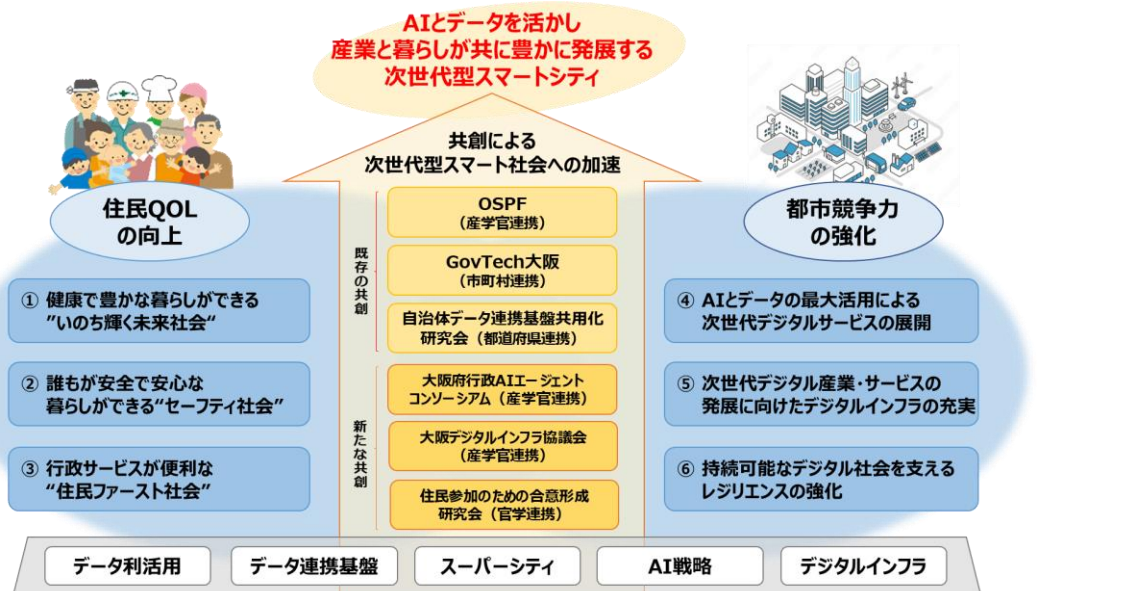
これまでの取組実績を基盤として、AIをはじめとするデジタル技術の飛躍的進化を踏まえ、人口減少や超高齢化など多様化・加速化する社会課題に対応し、万博後の未来社会を実現するため、目標年次を2030年とする『次世代型スマートシティOSAKA』実現をめざす。

【1】住民QOLの向上

最先端技術を暮らしに実装し、大阪に住む、訪れる人々が、豊かな暮らしや、便利なサービスを楽しめるウェルビーイングな社会を創る

【2】都市競争力の強化

万博レガシーを受け継ぎ、副首都に相応しい都市機能を備えるため、AIなど最先端技術を活用し、産業創出力や行政効率に優れ、新サービスを次々と生み出す都市を創る



基本方針に基づく取組（方向性・例）

府市が連携して“AIとデータを活かし産業と暮らしが共に豊かに発展する次世代型スマートシティ”を実現

| 【1】住民QOLの向上 | 【2】都市競争力の強化 | 【3】共創による次世代型スマート社会への加速 |
|---|---|---|
| <p>① 健康で豊かな“いのち輝く未来社会”</p> <p>《取組例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ● スマートヘルス/PHR ● 福祉分野の取組【介護テクノロジー導入支援、子育て応援等】 ● 健康分野の取組【依存症対策、データヘルス施策展開等】 ● 農業分野の取組【農業DXの推進等】 ● 教育分野の取組【プログラミングコンテスト、AI活用環境整備等】 | <p>④ AIとデータの最大活用による次世代デジタルサービスの展開</p> <p>《取組例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Open Data Platform in Osaka (ODPO) ● オープンデータの見える化【デジタルMAP、タッシュボード】 ● OSAKAデータイノベーションラボ (OIDL) ● AI行政サービスの展開【観光に係るコメント、労働相談(再掲)等】 ● AI産業・サービス及び次世代都市型産業・サービスの展開 | <p>⑦ 産学官共創によるスマート社会への加速</p> <p>《取組例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 大阪スマートシティパートナーズフォーラム (OSPF) ● 大阪府行政AIエージェントコンソーシアム ※再掲 ● OSAKAデータイノベーションラボ (OIDL) ※再掲 ● 大阪デジタルインフラ協議会 ※再掲 ● スーパーシティ型国家戦略特区 |
| <p>② 誰もが安全で安心な暮らしができる“セーフティ社会”</p> <p>《取組例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 災害時における避難所運営の効率化 ● おおさかユニバーサルデザインマップ ● ビッグデータを活用した渋滞対策 ● 南河内新モビリティプロジェクト ● AIを活用した労働相談体制の強化 | <p>⑤ 次世代デジタルサービスの発展に向けたデジタルインフラの充実</p> <p>《取組例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 大阪デジタルインフラ協議会 ● データセンター整備 (郊外DC、都市型DC等) ● 通信インフラ強化 (無線基地局、光通信網、IX等) ● 電力インフラ最適化 (送配電、GX等) ● 成長特区税制の支援対象の拡大 (先端的な基盤技術の追加) | <p>⑧ 国・自治体共創によるスマート社会への加速</p> <p>《取組例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 大阪府町村スマートシティ推進連絡会議 (GovTech大阪) ● 自治体データ連携基盤共用化研究会 ● スーパーシティ型国家戦略特区 ※再掲 ● 南河内新モビリティプロジェクト ※再掲 |
| <p>③ 行政サービスが便利な“住民ファースト社会”</p> <p>《取組例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ● AIエージェントによる行政手続 ● my door OSAKA ● 公金収納事務のキャッシュレス化 <p>府庁・市町村のDXやスマートシティ事業の強化等を通じ、府民や企業への行政サービスの高度化、住民QOL及び利便性の向上</p> <p>《取組例》 許認可・立入検査/指導監督等業務DXプラットフォーム</p> | <p>⑥ 持続可能なデジタル社会を支えるレジリエンスの強化</p> <p>《取組例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ORDENガバナンスサポート懇話会 ● サイバーセキュリティ (SOC整備の検討等) ● デジタル専門人材 (獲得・育成) ● 首都機能バックアップ (システム面) <p>AIの活用の際には、医療や金融取引など「より正確性が求められる領域」に、AI予測やアイデアの創出などより柔軟な発想が求められる領域等を区分して、コンプライアンス・セキュリティに関して十分に対策を実施</p> | <p>⑨ 住民との共創 (住民参加) によるスマート社会の実現</p> <p>《取組例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ● デジタル技術による住民参加型スマートシティ (デジタル民主主義・合意形成研究会) ● オープンデータの見える化【デジタルMAP、タッシュボード】※再掲 ● OSAKAキッズプログラミングコンテスト ※再掲 |

※一部事業については今後想定される取組内容を記載

| 1) 住民QOLの向上 | 2) 都市競争力の強化 | 3) 共創による次世代型スマート社会への加速 |
|--|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ● 大阪府で生活、経済活動を行う多様な人々が、健康で豊かに (いのち輝く未来社会)、安全・安心に (セーフティ社会)、便利に (住民ファースト社会)、暮らせるまちをめざす。 <p>例</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ デジタル技術の活用によるライフステージに応じた子育て・教育・福祉などの行政サービスのスタイルの変革 ➢ AI・ビッグデータ等を活用した公共施設の機能維持・向上 ➢ デジタル技術を活用した防災・減災のための対策 | <ul style="list-style-type: none"> ● 市民・企業・訪来者へ新たな価値・サービスを提供できるよう、都市機能の高度化をめざす。 ● データセンター等デジタルインフラの整備を促進し、AIとデータを最大限活用したまちづくりを進める。 <p>例</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 庁内業務のプロセス最適化による業務の生産性・効率性の向上 ➢ GXの推進による持続可能な社会への取組 ➢ ビッグデータを活用したデータ駆動型のまちづくりの推進 ➢ 自動運転バスの社会実装に向けた官民の取組 | <ul style="list-style-type: none"> ● 地域が主体となり、行政もともに、地域の活性化に取り組む。 ● 産学官の連携により、社会課題の解決やイノベーションの創出に取り組む。 <p>例</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 地域が主体となって進めるまちづくりをデジタルでサポート ➢ オープンデータの充実による事業者等のデータ活用の推進 ➢ 地元の大学・研究機関、事業者等との連携 |

上記の取組の実現に向け、『次世代型スマートシティOSAKA』の実践戦略として大阪市DX戦略をアップデートしながらさらに推し進め、大阪府で生活、経済活動を行う多様な人々がそれぞれの幸せ (Well-being) を実感できる都市への成長・発展をめざしていく。

これまでの取組実績を踏まえた大阪市DX戦略の3つの視点による今後の取組の方向性

サービスDX

窓口でのリアルなコミュニケーションも大事にしながら、データやデジタル技術を活用した最適なフロントヤードを検討

都市・まちDX

都市・インフラ分野での生産性向上に向け、建設生産プロセスDXを推進し、データ駆動型でマネジメントする都市である“データインフラ都市おおさか”をめざす取組を推進

行政DX

制度横断的に検討する仕組みをつくり、全関係職員が全体最適を見据えた共通認識をもちながら、職員の生産性向上につながる取組を推進